

恩納村漁協

所在地 沖縄県国頭郡恩納村前兼久 59

視察日 2015年12月9日(水)～12月11日(金)

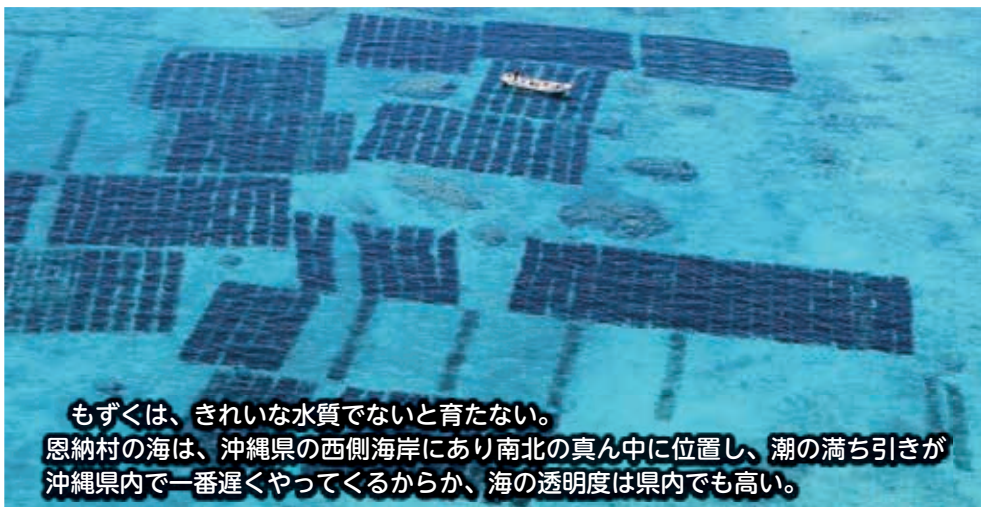
主な取扱品目

もずく・海ぶどう・アーサ他

生産者の声

もずくの品質は海の栄養分にも左右されます。栄養分の少ない沖縄の海では、珊瑚から出る栄養は欠かせません。そして、珊瑚は海の生き物の食べ物であり、住みかです。豊かな沖縄の海には、サンゴ礁は欠かせません。

しかし、サンゴを大量に食べるオニヒトデの大量発生、赤土が海へ大量流出するなどによりサンゴ礁は減っていました。私たちは危機感を抱き、サンゴ礁を広げる取り組みとして、オニヒトデの駆除、サンゴの養殖、赤土流出量を減らすための条例を守ってもらうために取り組んでいます。



もずくは、きれいな水質でないと育たない。

恩納村の海は、沖縄県の西側海岸にあり南北の真ん中に位置し、潮の満ち引きが沖縄県内で一番遅くやってくるからか、海の透明度は県内でも高い。

商品の特徴



もずくの養殖方法は秘伝にしていけないので、沖縄県内多くの漁協でもずくを生産していたそうです。しかし市場に低価格の波が来たときに、作り続けることが出来ず、辞めた漁協も多かったといいます。その中で恩納村漁協のもずくは、他のもずくと差別化をはかり、天皇賞も受賞しました。

他の漁協より厳しい基準を設け、糸もずくの養殖開発、恩納村もずくの品種開発と日々養殖技術を研究し、品質向上を目指しています。

参加理事のコメント



サンゴ礁を守る取り組みは、現在40才までの青年部の役割。親世代の取り組みを見て育った青年部の生産者は、誇りに満ちた笑顔で「品質は食べてもらえばわかってもらえます。少しずついいから、このサンゴ礁の取り組みを知って参加してほしい」と私たちに伝えてくださいました。この思いを組合員へ伝えていきます。

